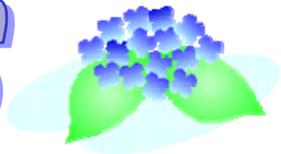


パートナーシップNEWS



第36号 平成18年3月 発行：パートナーシップ推進課



パートナーシップ最前線！

楽しみながら みんなで“アダプト”～さがみはら街美化アダプト制度～

「アダプトって何？」

昨年11月から、麻布大学の学生・教員による街美化アダプト活動（通称：アダプト）がスタートしました。

日頃、通学で利用しているJR矢部駅から大学までの歩道（約300メートル）を隔週で清掃しています。

本来のアダプト活動に加えて、ごみの量や種類など排出状況の調査も実施されており、同大学環境政策学科の研究対象としても位置づけられています。今後は、自治会の清掃活動と連携したり、子どもたちと一緒に身近な環境を学ぶ場として活用される予定です。



「釜焼きピザと花の植替え」

相模原けやきライオンズクラブでは、相模大野中央公園の花壇で街美化アダプト活動に取り組んでいます。

同クラブは企業有志の方々に構成される団体で、日頃から地域貢献活動に取り組んでいます。平成16年10月にアダプト活動をスタートしました。

花の植え替え時期には、会員の皆さんが種から育てた花の苗を持ち寄り、楽しみながら花壇に植えています。

また、植替え作業の参加者には「釜焼きピザ」も振舞われました。



街美化アダプト制度研修会を開催いたしました！

3月11日（土）に橋本公民館で街美化アダプト制度研修会を開催いたしました。

当日は社団法人食品容器環境美化協会の審議役 谷津直生さんのアダプト制度の仕組みや全国的な導入状況などに関する講演のほか、実際にアダプト活動を行っている橋本南口商店街協同組合と相模原けやきライオンズクラブの活動状況の発表がありました。

2つの団体とも単なる奉仕活動としてアダプト活動を行っているのではなく、生きがいを感じ、楽しみながら活動を行っているとのことでした。

